

5 乳牛の栄養状態と乳成分

乳成分をみることで、エサの濃度やバランスを評価することができます。乳成分の変動を見てみると乳牛の栄養状態の変化をある程度推測できます。乳牛の状態を見ながら、不足しているものは増し、過剰なものは減らしましょう。

(1) 乳成分と栄養状況の目安

ア 乳脂肪率…サイレージなど粗飼料（センイ）の割合が多くなると高くなります。

- ・3.4%以下…アシドーシスの疑い（濃厚飼料に対する粗飼料不足）
- ・4.5%以上（泌乳初期）…エネルギー不足の疑い（体脂肪から脂肪を動員して上昇）

アシドーシスとは

濃厚飼料が分解される際に産生する酸が多すぎることによりルーメン壁が炎症を起こし消化吸収の妨げとなります。ひどい場合には回復に3ヶ月以上かかります。

イ 乳蛋白率…タンパク質の分解スピードが偏っている場合やエネルギー不足で低下します。

ウ MUN(乳中尿素窒素)…エサのエネルギーとタンパクのバランスを示します(図5)。

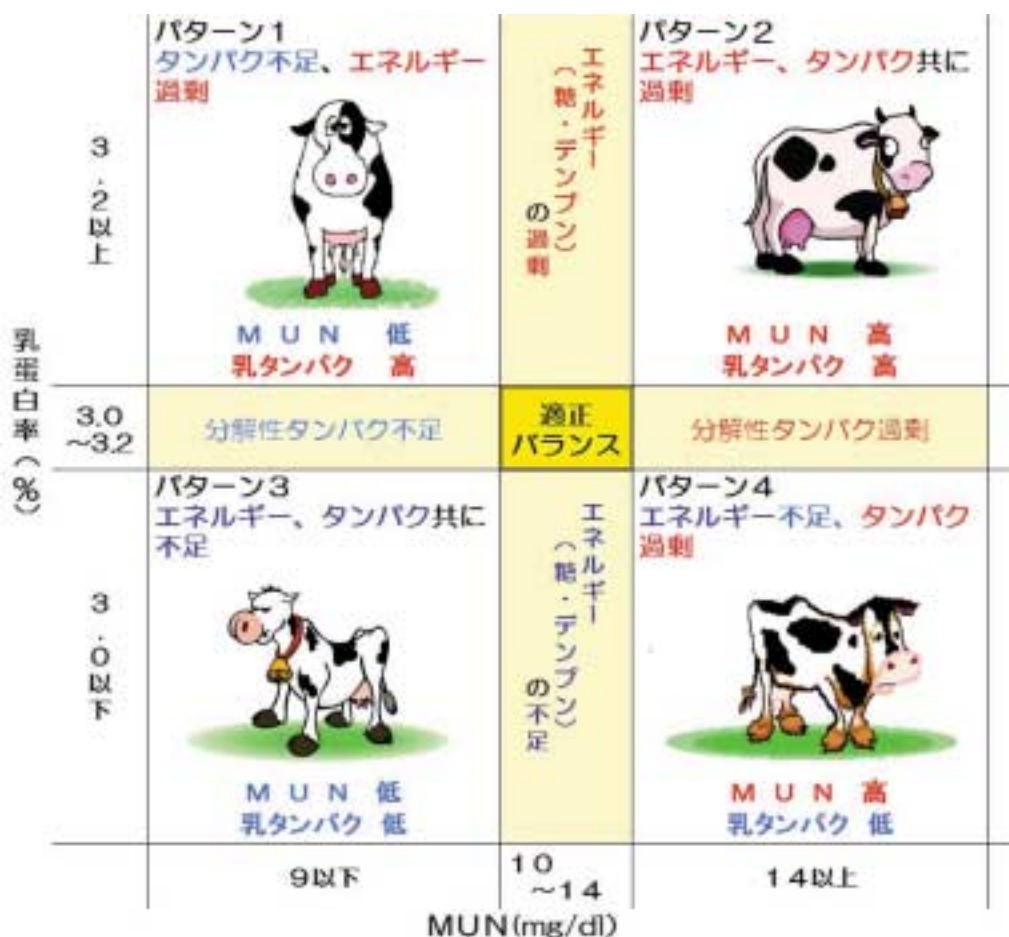


図5 乳タンパクとMUNからみた栄養バランスの指標

分解性タンパクとは

タンパク質のうちルーメンで分解される蛋白のこと。この他に分解されない蛋白(=非分解性タンパク)や下部消化管で分解される蛋白(=バイパスタンパク)がある。